

登山靴・トレッキング



ブーツご使用の皆様へ

トレッキングブーツにも寿命があります



「ポリウレタン」が劣化する「経年劣化」とは？

登山靴の中で、ミッドソールに「ポリウレタン」を使用した製品は、ポリウレタンが年数を経ることで劣化し、ミッドソールの破壊が起こる可能性があります。また、ソール（靴底）を貼り付ける接着剤がポリウレタン系の場合も同様に接着剤が劣化し、ソールがパッカリとはがれてしまう可能性があります。この現象を「経年劣化」と呼びます。主な原因として高温度・高湿度が挙げられます。

履いていない靴でも壊れます

ポリウレタンは軽量で耐摩耗性に優れ、適度な衝撃緩衝性を持っていますので、優れた素材として登山靴やトレッキングシューズのミッドソールに多く採用されてきました。しかし、保存状態などによってポリウレタンが劣化し、突然ソールの破壊が起こる場合があります。一般的に製造後5年程度が寿命とされていますが、これは保存状態などによってさらに短くなります。使用の有無にかかわらず、長い間履いていない靴でも破壊が起こる場合があります。

ご不明な点がございましたら、靴を購入された販売店、または下記団体にお問い合わせください。

(一社)日本スポーツ用品工業協会

03-3219-2041 | <http://.jaspo.org>



ソールに異常が見られたら、速やかに下山してください

登山前には靴の安全確認を行ってください。
万一、山行中にソール(靴底)が剥がれたり破損が生じた場合には、
山行計画を中止し、応急処置をして、
速やかに、最短コースで下山してください。

針金や細引き、テープなどで本体とソールをしっかりと固定してください。
テープなどを巻くとソールの凹凸がなくなり、ラバーのグリップ力も低下するため、
非常に滑りやすくなります。十分に注意して下山してください。

応急処置例



針金

針金は強度が強いですのでしっかりと固定できます。ただし、岩などでは大変滑りやすくなりますので、十分に注意してください。



細引き

細引きを使用する場合は、しっかりと結び、緩んでいないかをチェックしながら下山してください。



テープ

テーピングテープを使用する場合、ソールのパターンが覆われ、滑りやすくなりますので十分に注意してください。

破損に気がついた時はすでにミッドソールはボロボロの状態になっており、短時間でソールが剥がれ落ちてしまいます。破損が起きたときはルートを変更して、直ちに下山してください。「この程度なら大丈夫」と歩き続けたことによる事故も起きています。冷静な判断があなたを危険から守ります。登山やトレッキングでは針金、細引き、ガムテープ、テーピングテープなどは他の用途でも重宝しますので、常に携帯してください。

使用前の注意

登山靴、トレッキングブーツ本体やミッドソール、フック、D環などに異常がないか点検してください。とくに、ミッドソールは、ソールの屈曲を繰り返してひび割れなどの異常がないかを確認してください。長期間使用していない登山靴、トレッキングブーツは、気づかない間に「経年劣化」による破壊が起こっている可能性がありますので、とくに入念に安全確認を行ってください。

各部名称

フック

D環

ミッドソール



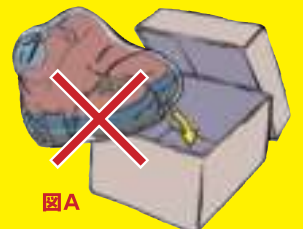
使用後の手入れ

トレッキングブーツを使用された後には、本体や靴底を水洗いして、土等の異物を除去してください。洗った後は乾いたタオル等で水気を取ってください。乾燥は、風通しのよい場所で十分に日陰干をした後、はっ水スプレー等でメンテナンスを施してください。

※はっ水スプレーの使用は必ず風通しの良い屋外で行ってください。

保管方法

高温多湿にならない通気性の良い(風通しの良い)場所で、箱やビニール袋等で密閉しないで保管してください(図A)。



図A